

腹腔鏡下肝切除術の短中長期成績の検討

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2020 年 7 月に当院で肝臓の手術を受けられた方のうち、「がん研究への協力に関する包括的同意書」に同意された方。

2. 研究目的・方法

近年、消化器外科領域においては従来の開腹手術から腹腔鏡下手術への転換は目覚ましく、肝臓領域においてもそれは例外ではない。腹腔鏡下手術の利点は、小さな創という腹壁破壊の軽減にとどまらず、拡大視効果による微細解剖を視認した上での繊細な手術操作が実現することにある。腹腔鏡下肝切除術が本邦において保険収載されてからまだ 10 年を経過しておらず、その中長期成績については明らかになっていない。今回、当科における腹腔鏡下肝切除症例の短中長期成績を解析し、本術式の真の有用性が明らかになると思われる。

研究実施期間:2020 年 9 月 8 日から 5 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査、画像検査（レントゲン写真）、手術記録、術後合併症の発生状況、病理記録 等

4. 試料・情報の公開

本研究成果については、年に 1 度所定の文書により研究の進行状況を病院長宛てに報告することとし、更に学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、匿名加工情報とし匿名化した上で発表を行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780

電話番号：048-722-1111

埼玉県立がんセンター 消化器外科 小倉 俊郎（内線 5058）（研究責任者）

-----以上